

令和5年度全国博物館長会議（第30回）開催要項

テーマ 「転換期にあるミュージアム -いま何が求められているのか-」

1. 趣旨

全国の国公立の博物館長に参加を求め、博物館を取り巻く文化政策や現在求められている役割・機能、博物館現場における諸課題について情報共有を行う。また館長のマネジメントの強化を基盤として博物館運営の充実を図り、教育・学術・文化の発展はもとより、中長期的且つ持続的に地域の活力向上に寄与していくための方策を協議する会議とする。

2. 主催 文化庁、公益財団法人日本博物館協会

3. 対象 全国の国公立博物館長

4. 期日 令和5年7月5日（水）

5. 場所 文部科学省 東館3F講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

6. 日程（※時間及び内容は変更となる可能性があります）

12:00～13:00 受付

13:00～13:10 開会挨拶 文化庁

公益財団法人日本博物館協会

13:10～13:40 「転換期にある博物館行政」（文化庁）

13:40～14:10 「さらなる対話と連携へ」（公益財団法人日本博物館協会）

14:10～14:40 「これからの博物館経営」（大原美術館）

（第3回日本博物館協会賞受賞館）

14:40～14:55 休憩

14:55～17:25 個別講演（講演時間は各30分を予定）

○「ミュージアムDX：課題と展望」（14:55～）

文化庁博物館支援調査官 中尾智行

○「資料保全と博物館連携－神奈川県を事例に－」（15:30～）

神奈川県立歴史博物館館長 望月一樹

○「博物館が連携するということ～岐阜県博物館協会の事例～」（16:05～）

美濃加茂市民ミュージアム館長 可児光生

○「栃木県立博物館のコレクションマネジメント関連規定とその運用」（16:40～）

栃木県立博物館前学芸部長 林 光武

17:30 閉会